

最上中 県中学校総合体育大会 出場種目紹介

▶ **野球** 23年ぶりの出場！

会場 山形市野球場



▶ **バスケットボール女子**

会場 米沢市営体育館



▶ **柔道** 団体戦地区5連覇！

会場 南陽市民体育館



▶ **ソフトテニス**

会場 天童市県総合運動公園テニスコート



▶ **剣道**

会場 鶴岡市小真木原総合体育館



▶ **陸上競技**

会場 米沢市営陸上競技場



山口畜産より寄付をいただきました



6月13日、有限会社山口畜産代表取締役の山口登さんが役場を訪れ、町に300万円を寄付しました。

山口さんは「より良いまちづくりのために有効に活用してください」と話してくれました。高橋町長からは「山口畜産さんからは、日ごろより畜産の分野で多大な協力をいただきありがとうございます。いただいた寄付金は、産業発展のために役立てていきます」とお礼の言葉が述べられました。

最上町版モデル住宅 全6棟



建売



Aタイプ 1,690万円 Bタイプ 1,650万円 (土地代別：約300万円)
最大300万円の購入補助あり！

3LDK Aタイプ間取り



1階



2階

敷地面積248㎡～ (建物延べ床約100㎡)

定住促進住宅(集合住宅)全10世帯



賃貸



家賃 50,760円/月額 (駐車スペース2台分込み)

2LDK

1世帯3～4人を想定



角部屋タイプ



中央部屋タイプ

山形県最上町定住促進センター ☎0233-43-2261 受付時間 8:30～17:00 (但し土日、祝日を除く)
※最上町役場総務課まちづくり推進室内

平成28年度、最上町はふるさと納税制度により、全国各地

15,859名の方々より232,725,151円の寄付金をいただきました

今回は、寄付者の方々にお礼品を出品している町内の方にお話を聞きました



前森の女性産直グループ「高原の茶屋」は、自慢の季節野菜を詰め込んだ「春夏秋冬ふるさとセット」を出品しています。新鮮なものを届けるために、発送直前に収穫するというこだわりもあり、雑誌等で紹介されるなど全国的に注目を集め、人気のお礼品となっています。高原の茶屋代表の樋口ハマコさんは「全国からこんなにたくさんの希望が寄せられるとは思ってもみなかったです。山菜の収穫や力仕事などには旦那や家族のサポートが必要不可欠です。家族を始めた皆さんの協力のよって『春夏秋冬ふるさとセット』を作ることができたので、本当に感謝しています。今後も自分たちができる範囲ではありますが、たくさんの農作物を生産し、少しでも多くの寄付者に新鮮でおいしい自慢の農産物を届けたいです」と話してくれました。



しばさき農園は、健康食品としても有名なにんにくを熟成加工した「波動熟成黒にんにく」を出品しています。しばさき農園代表の柴崎昌幸さんは、約20年前に米に代わる農作物として何を栽培しようかと思案し、最上伝承野菜「最上赤」(にんにく)の種を譲り受け、種の増産から着手しました。柴崎さんは「試行錯誤の末に出来上がった『波動熟成黒にんにく』が、ふるさと納税のおすすめ返礼品として雑誌に掲載されるなど注目され、多くの寄付者からお礼品として選ばれていることに非常に感謝しています。個人としても、最上伝承野菜『最上赤』を使っているというこだわりを前面に押し出し、PRもがんばっていきます。今後も、より良いものを作るのはもちろんのこと、にんにくの栽培・加工を確立し、次の世代に伝えていきたいです」と話してくれました。

宝くじの普及広報事業

コミュニティ助成事業で

満沢地区公民館の備品を整備しました



今回助成を受けた満沢地区公民館

は、満沢地区にある4集落(細の原、

下満沢、中満沢、上満沢)の連携と、

地区全体の活性化のための活動を展

開しています。

助成事業で整備した備品を活用

し、満沢地区公民館活動の活発化は

もとより、「みつざわ未来創造館ら

いず」の更なる有効活用と、ここを

拠点にした人・物・文化の交流、発

展に結びつけ、満沢地区及び町の活

性化につながる活動を進めます。

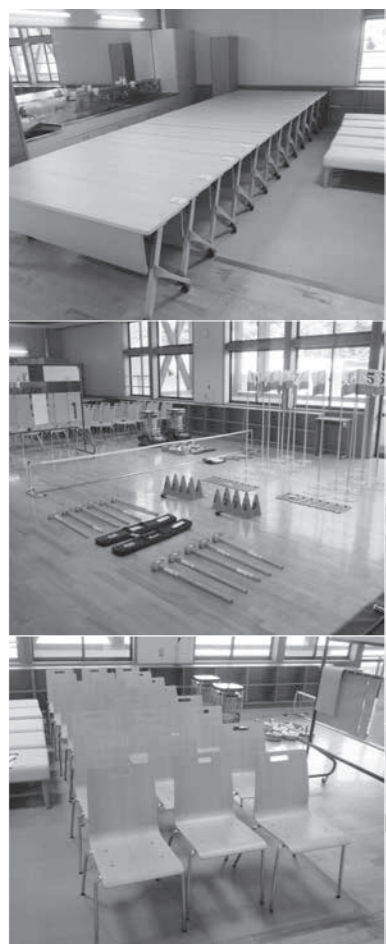
◇ 事業主体 満沢地区公民館

◇ 助成額 250万円

◇ 事業期間 平成29年5月1日～

◇ 事業内容 椅子・テーブル他

コミュニティ活動備品の整備



総務課まちづくり推進室

☎43-2261